

シラバス参照

科目名	社会学 I
配当年次	1 年次
開講期間	春学期
単位数	2
担当教員	白幡 晶(シラハタ アキラ)
期間・曜日・時限・教室	春学期 火曜日 2時限 13－208

※	
授業の目的・目標	(1) 授業の概要 関連科目で、社会学領域の基礎レベルです。 感染症、免疫についての基礎的な知識を学び、新型コロナウイルス感染症に当たって自分の家族や友人が、ニューノーマルの生活やワクチン接種へどう反応したかなどをクラスで共有することを通して、感染症という個人のリスクが社会全体にどう広がって影響していったのかを考える機会としたいと思います。学習成果や授業の目標の達成度を把握するために、プレアンケート、ポストアンケートを実施します。 (2) 授業の目的 感染症が広がると社会変化がどう起きるか(生活がどうなるか)について自分なりの考えを持ち、感染症の地域社会における拡大や影響を最小限に防ぐために個人としてできることを自ら考えられるようにすることを目指しています。 (3) 修得できる力 ①知識・理解、④総合的な経験と創造的思考力に焦点を当てます。 (4) 学習成果 ・クラス内での発言や質問を促すので、積極的な行動が取れるようになります。①前に踏み出す力 ・権利と義務などについて議論する機会が多いので、個人と社会とのつながりを考えられるようになります。②考える力 ・決められた時間内にグループごとに話し合って結論を出す活動を課題とするので、考え方の違うもの同士で協力するには何が必要かを体感します。③協力する力 (5) 授業の到達目標 幅広い教養を身につけ、多角的な視点から仲間の良さを引き出しながら議論できるようになること。(③「社会の多様性に配慮して主体的かつ協同的に実社会で貢献できる能力」)
準備学習等の指示	・授業では、Microsoft Teamsを利用します。Webclassに利用手順を掲載するので、確認しておいてください。また、1回の授業ごとに必要な準備学習の内容は、毎回の授業終了後に指示をします。なお、予習復習合わせておおむね3時間30分程度の学習内容を想定しています。 ・Webclassに毎授業3日前までに資料を掲載しますので、それを学習し、各自予習としてレポート(A4サイズ)1枚程度(あらかじめウェブ等で調べて、どんな授業になるのか自分なりのイメージを持ち、授業で扱われそうなキーワード3つをリストアップするなど)にまとめておいてください。 ・復習の方法は、各回の授業で示される課題について、講義の振り返り、討論の振り返り(何を学んで、何を理解したか、討論で自分の意見を発言できたか、有益な討論に貢献したかなど)を行なったのちに、課題内容を社会学ⅡのTeamsへ投稿してください。講義の過程で実施される3回の小テストではあらかじめ問題を示しますので、回答をまとめておくことも復習として行ってください。
講義スケジュール	1. 授業の概要。授業を受けるにあたって知っておくべきこと。 プレアンケート 2. 人間の体、コロナウィルスってどんなもの？ 3. ウィルスに感染して、どうして症状がでるの？ 4. 病原菌から身を守るにはどんな方法があるの？(小テスト1) 5. ワクチンってなに？ 6. ワクチンには効果はあるの？どんなリスクがあるの？ 7. 副作用のある薬をなぜ使うの？(安心と安全の考え方) 8. 感染症まとめ(小テスト2) 9. ワクチン接種率が上がらないのはなぜだろう？ 10.なぜパンデミックが起こったのだろうか？ 11.ネットニュースやSNSに出ている情報は、最新だから正しいの？ 12.感染拡大を防ぐのにどうすればいいのだろうか？(小テスト3) 13.新型コロナウイルス感染症による日本社会の変化まとめ ポストアンケート
教科書	特にありません。
参考文献	この授業は、「コロナ危機の社会学」(朝日新聞出版、西田亮介、1500円)、「信頼学の教室」(講談社現代新書、中谷内一也、900円)などを参考にしていますが、授業ごとに参考にしたウェブサイトや参考文献は示したいと思います。
授業の方法	講義とグループ討議と発表 前回の授業についての解説や追加説明(15分)ののち、各回の授業に示されているテーマについての簡単な講義(20分)をパワーポイントを用いて行い、質問時間(15分)を設けます。グループに分かれてその討論テーマについて話し合い(30分)、その発表を行います(20分)。なお小テスト等を行う場合は、討論を行わない場合もあります。 解説や講義はパワーポイントで画面に示します。配布資料として、パワーポイントのグループ分けや役割分担は授業中に説明します。
成績評価方法	1) 授業態度60%、記述試験あるいはレポート40% 2) 授業態度の評価基準は授業中の質問数、グループ討議のプロダクト、参加姿勢など、記述試験、レポートの評価基準は授業内容の理解度で行います。記述の評価はあらかじめルーブリックを示します。

オフィスアワー	火曜2限終了後、3限終了時まで
居室	坂戸キャンパス13号館1階 短大副学長室
ホームページ	
その他特記事項	
添付ファイル	